

平成30年産

気仙沼・南三陸 稲作情報 第3号

平成30年6月1日発行

宮城県気仙沼農業改良普及センター

TEL 0226-25-8069 FAX 0226-22-1606

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-tihouken-n/kesennumanoukai.html>

今後の管理のポイント

- ・分げつの発生を促進させる適切な水管理を行いましょう。
- ・除草剤の効果を持続させるため、田面を露出しないようにしましょう。
- ・補植用残苗は、いもち病の発生源となるので、早急に処分しましょう。

1 水稻生育調査ほの生育概況（移植）

- ・本吉ひとめぼれでは、草丈は概ね平年並、莖数はやや少なく、葉数は平年より0.4枚少なくなっていますが、生育は概ね順調です。
- ・志津川ひとめぼれ、だて正夢の生育は概ね順調です。
- ・管内の生育についても概ね順調に経過しています。

表1 水稻生育調査結果（6月1日）

品 種 地区名		田植日	栽植密度 (株/m ²)	草丈 (cm)	莖数 (本/m ²)	葉数 (枚)
ひとめぼれ 気仙沼市（本吉町）	本 年	5月15日	19.3	19.4	104.2	4.6
	平年比・差	+1	97%	96%	90%	-0.4
ひとめぼれ 南三陸町（志津川）	本 年	5月18日	17.2	21.8	132.4	5.1
だて正夢 気仙沼市（本吉町）	本 年	5月16日	18.6	22.6	126.5	4.3

注1) 平年値は平成25年から平成29年までの5か年の平均値。

注2) 志津川ひとめぼれは本年度から、だて正夢は平成29年から調査開始のため平年値はなし。

2 気象の概況

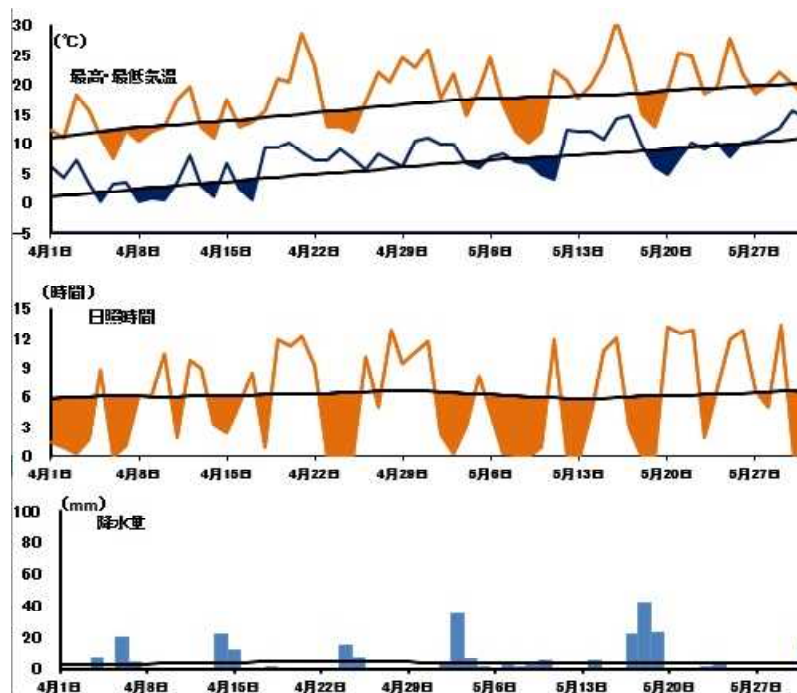


図1 気象経過図（気仙沼アメダス：4月1日～5月31日）

3 田植の状況

田植盛期は平年より1日早い5月15日となりました（表2）。

表2 田植状況

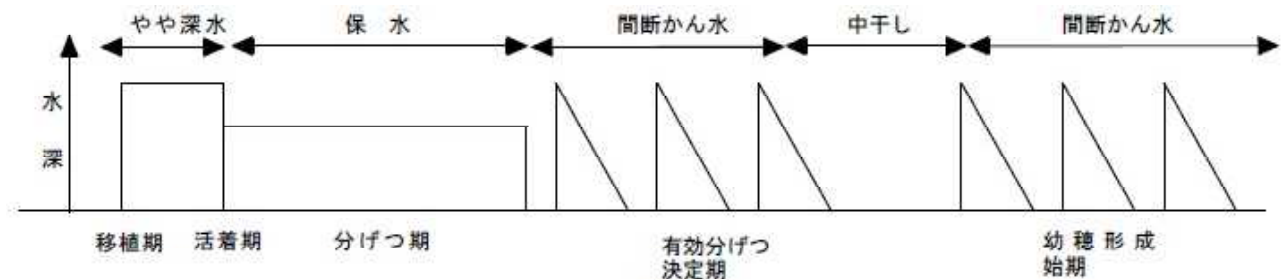
	始期	盛期	終期
本年	5月10日	5月15日	5月23日
平年差	±0	-1	-1

注）田植えの始期，盛期，終期は作付面積比でそれぞれ5%，50%，95%が田植えされた時期。

4 今後の管理の留意点

【水管理】

- 水深2～3cm程度の浅水管理で水温と地温を上昇させ、分げつ発生を促しましょう。
- 低温や強風が予想される場合には5～6cm程度の深水としましょう。



【雑草防除】

- 初期剤や初中期一発剤を散布したほ場でも残草があれば、雑草の種類や葉齢，稲の葉齢を確認し、適切な薬剤で適期に防除しましょう。
- ヒエやイヌホタルイ等の雑草は、稲の出穂前にカメムシ類を水田に呼び寄せます。イヌホタルイやシズイにもアカスジカスミカメが寄生・産卵します。雑草対策を徹底しましょう。

【病虫害防除】

①いもち病

- 補植用の残苗は、本田でのいもち病の発生源となります。まだ、残苗がほ場にある場合は、早急に処分しましょう。
- 箱施用剤による予防防除を行っていない場合は、各種水面施用剤を防除適期に散布しましょう。

②イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ

- 箱施用剤を使用した場合は、本田での防除は必要ありません。しかし、使用しなかった場合は次の防除基準を目安に防除しましょう。

害虫名	防除を必要とする目安
イネミズゾウムシ	侵入盛期の畦畔際2m程度の成虫密度：100株あたり成虫が140頭 ※今年の成虫本田侵入盛期は、やや早い（5月第6半旬），発生量はやや少と予報されています。
イネドロオイムシ	侵入盛期の成虫密度：100株あたり25頭又は， 産卵盛期の卵塊密度：100株あたり80個 ※今年の産卵盛期は、やや早い（6月第1半旬），発生量は少と予報されています。

（注）※印は発生予報第3号（平成30年5月22日発行 宮城県病虫害防除所）より抜粋。詳細は、県病虫害防除所ホームページ（<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/>）を参照願います。



イネミスソウムシ
(成虫)



イネドロオイムシ
(幼虫)

5 今後の気象

東北地方 1か月予報
(6月2日から7月1日までの天候見通し)

平成30年5月31日

仙台管区气象台 発表

<特に注意を要する事項>

期間のはじめは、気温がかなり高くなる見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	20	30	50
【降水量】	東北地方	30	30	40
【日照時間】	東北地方	30	40	30

<気象経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1週目	東北地方	10	10	80
2週目	東北地方	20	40	40
3~4週目	東北地方	30	40	30

<予報の対象期間>

- 1か月：6月2日(土)~7月1日(日)
- 1週目：6月2日(土)~6月8日(金)
- 2週目：6月9日(土)~6月15日(金)
- 3~4週目：6月16日(土)~6月29日(金)

4月1日~6月30日は「春の農業安全確認運動」の実施期間です。

スローガン「まずはワンチェック、ワンアクションで農作業安全」

6月1日~8月31日は「農薬危害防止運動」の実施期間です。

- ・次回の水稻生育調査は6月11日(月)に行います。
- ・次号の「気仙沼・南三陸稲作情報」は6月中旬の発行を予定しています。